

なすびの花

2024年頭にあたり 社長のご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。
代表取締役社長 岡本 貴利です。

2023年は新型コロナウイルスが5類になり、マスクを付けないことも増え、徐々にコロナ禍以前の状態に戻り、非常にうれしく思います。

ただ、記録的な円安や物価上昇が生活を直撃し、ウクライナでの戦争も終わる気配がなく、そして更にはイスラエルでの戦争が始まり、と世界には暗い影も落ちております。

これらの状況が、一日も早く収束することを切に願います。

当社では、9月に今期の方針として

『**新工場で心機一転、働きやすい環境を整備し、品質を上げ、結果、顧客満足度を上げる。**』

と、お話をさせてもらいました。

この1月末に新工場が完成し、2月末に引越し予定です。

私にとりまして大きなチャレンジの年になると思いますが、従業員の皆様にとっても、大きな変化であることと思います。

新工場では、自社製のIoT機器を導入したDXを積極的に推進しますが、まずは安全で働きやすい環境を造ることが第一であり、その結果、品質や顧客満足に反映できると確信しています。

新たな工場で、新たなイーエル・オカモトが、従業員も含めた社会に対して貢献できるよう努めたいと思います。

皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後に、この一年が世界の人々に良い年となるよう祈念いたしましたして、新年の挨拶とさせていただきます。

課内勉強会

検査課では、今年度の品質環境目標のひとつに、『年間6回の課内教育』を挙げています。

目的は、検査課での業務を単なる作業としてではなく、品質の確認・維持管理という意味があることを、課全体で共有することです。

繁忙期が終わりを迎えた、12月に第一回目の勉強会を実施いたしました。

勉強会では、お客様からいただいた資料と、昨年、検査課で作成した『過去の失敗事例集』の解説と、失敗についての対策を説明しました。

その後、QC七つ道具の中にある『特性要因図』の説明をし、第一回目の着地点は、この『特性要因図』を全員で作成することとしました。

この『特性要因図』は、原因分析をする際に使用します。課内での初めての試みでしたので、まず『特性要因図』そのものに慣れ親しむことを第一に考え、取り掛かりやすいテーマを課員に考えてもらいました。

そして、『特性要因図』の詳細テーマは、『**子供が何回言っても片づけられない**』と決まりました。

初歩としては、小骨をたくさん挙げる事を考え、検査課4人で、ポストイットに思いつくままに書いて、ペタペタと貼り付けていきました。

この小骨を元に、全員で次の対策を考えました。

* 置き場所を決めて明示する

* 物を減らす(断捨離)

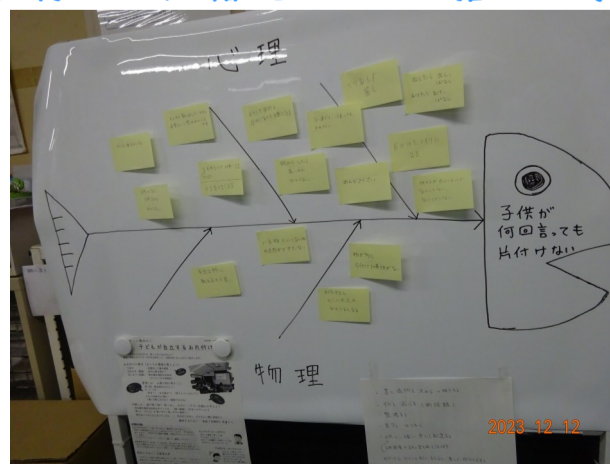
* 一軍・二軍を決める

* 子供部屋や置き場を作る時、子供と一緒に考えて片づけやすい配置にする

* 片付けをポイント制にするなど、楽しく片づけができる工夫をする

* メロディやアナウンスでメリハリをつけて片づける

今年度中に、更に数テーマ作成して、徐々に内容を品質問題に関連付けていき、中骨や孫骨まで充実させながら、課員が少しずつ成長していけることを目指して参ります。



皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年は、品質環境壁新聞「なすびの花」に温かいご支援を賜り、ありがとうございました。

本年も、皆さまと共に、明るい1年になりますように、刊行していきたいと思っております。

何卒よろしくお願い申し上げます。

なすびの花